

## 御嵩町新庁舎等整備事業

### 第三者検証委員会の調査報告書に関する町民説明会(質疑まとめ)

日 時:令和6年5月1日(水) 午後7時～午後8時

会 場:中公民館 3階大ホール

町民) 庁舎移転ありきの説明で、移転に対してどうしていくのかの説明が乏しいです。他の施設を併設(保育園、児童館)することについて、どのような議論がされたのですか。また78億円の内訳については説明されていますか。第三者委員会の客観的な意見ということであるが、どういった人選であったのですか。これで住民の疑問に対して説明したということになったのでしょうか。

町) 移転計画に関しては、議会において7ヶ所の候補地を挙げ、周辺道路とのアクセス性やまちづくりとの整合性、亜炭鉱の有無、財政面、町民の利便性など、様々なキーワードを挙げ比較検討し、候補地を絞ってきた経緯があります。これら関係資料を第三者委員会へ提出し、検証いただいた結果が本報告書です。施設の複合化については、これまで町や議会との協議、議論の過程で進められてきたものです。中保育園や中児童館、町民ホールも含め議論の過程で進められてきたものです。これら議会との議事録や関係資料等についても第三者委員会へ提出し、評価いただいています。78億円の内訳については、令和4年度の町民説明会で説明をしました。具体的には、造成工事に約17億円、設計費3.8億円、その他経費3.7億円、用地費1.9億円、外構工事9.5億円、町民ホール建設費に12.5億円、庁舎建設費に23.6億円、盛土購入費が6億円で総事業費78億円です。第三者委員会の委員選任については、今回の検証項目が多岐にわたるため、弁護士、会計士、有識者を選定させていただきました。多くの町民より、これまでのプロセスや事業費について不安や懸念の声が大きかったため、これらの委員を選定させていただきました。

町長) 1点補足させていただきます。第三者委員会の関係ですが、客観性を持った評価がされたものです。これらを踏まえ、今後の方針については町の方でしっかり検討していきたいと思えます。

町民) 第三者委員会の報告、これを糧に今後どうするかという一つの投げかけだと思いますが、この第三者委員会の説明を見ると、今後町執行部ありきで進むような印象がありますが、町民の意見集約をされるのかどうかです。自治体は地方交付税を国からいただいています。今回の第三者委員会の報告の中でその点は審議されたのです

か。国の補助金が適正に使われていたのですか。この調査をする前に町の財政健全化についてどの程度吟味されたのですか。第三者委員会の委員が職員に聞きながら資料を作成したのですか。

町長) 町民からご意見をお伺いする機会については、方向性をお示ししながらそのような機会を設けていきたいと考えています。またインフラ整備、福祉サービス、行政サービス等々これまでに適正に使われているかどうかについては、国の会計検査等により判断いただいているものです。第三者委員会は今回の庁舎建設事業に対しての検証となるため、その前提となっているものに関してはしっかりと調査いただいています。

町民) 各年度の財政調整基金が多く積み立てられた時もあり、そうでない時もある。その点について第三者委員会は何か指摘は無かったのですか。

町長) 庁舎整備に当たっては、庁舎整備基金を設け貯金をしてまいりました。また災害等にも備える必要があり、財政調整基金も備えています。基金としては他市町よりも多い状況であり、その点についてはしっかりと対応しているという認識です。

町民) 前町長の時、バイパスと可児川の間には庁舎が移るという話を聞いたとき、「子どもたちがバイパスや可児川の方へ出て行きませんか」「幼稚園や児童館が移るのには私は反対です」とはっきり言いました。ですが何の返事もありませんでした。また、保健センターは今の位置のままで庁舎だけが移るというお話でした。保健センターと役場が分かれたら、2ヶ所行かなきゃいけないので不便です。「78億のお金をかけるのであれば、保健センターや今の役場を直して、児童館や保育園も悪いところを直して使えるようにしたらどうですか」ということも言ったのですが、何の返事もありませんでした。新しい場所へ移転したら、選挙にも行けなくなると言われる方もいます。住民が使いやすいようなやり方で進めていただけるとありがたいです。

町長) 只今頂いたご意見もしっかり捉えさせていただきます。児童館と保育園の話、選挙の話もございましたが、必ずしもそこに紐づいているわけではありません。配置が変われば、それに伴い投票所の場所の変更もあります。どうしたら便利になるのか、しっかり検討させていただきます。

町民) 今の庁舎はとても危険であると言いながら、保健センターは大丈夫なのですか。第三者委員会で問題は無かったにしても、同じ場所にいくつもの建物を建てなきゃいけないのは合点がいかないです。もう一度試算し直さないと、実際のかかる費用は分からないのではないですか。そこから検討しないと駄目ではないですか。

町長) 選挙では、少なくとも今の計画のまま進めるということは無いとの話をさせていただきました。予定地は農地のため当然造成が必要であり、安全性という観点からすると空洞充填しなければならないということもあります。安全性重視を念頭に置くと、一定程度の費用がかかると考えています。とはいえ物価高騰もあり、費用対効果も含め検討していく必要があります。ただし安全性確保のため際限なく金額を上乗せしていくことは考えていません。保健センターに関しては、今後どういう活用の仕方が良いのかも含め検討していきたいと思います。

町民) 現庁舎がハザードに該当し危険であるとしているが、隣接する向陽中学校もこのハザードの位置であるならば建て替えや移転を考えてほしい、との町民の声が出るのではないですか。まずは子どもの育成を図ることが優先ではないのでしょうか。第三者委員会ではそのような意見は出なかったのですか。

町長) 現庁舎のハザードについては、100年に一度または1000年に一度の大雨という観点で危険が及ぶ可能性があることを示しているものです。現施設が耐震性を備え、自家発電などの重要設備が架台として上階に設置できる状態が確保できれば措置しつつ、今後この部分の建て替えが必要になった場合には、エリアとしてどうかということを議論していく必要があろうかと考えます。

町民) 報告書にあります副町長の土地の問題ですが、副町長の土地があるかないかが問題でなくて、検討委員会の中で責任者としてやっていたことが疑惑を生んだのではないかと私は判断しております。今後、町が企画立案する様々な計画については、職員を外すというようなことも配慮しつつ、公明正大に一切疑惑が無いよう進めていただきたいです。

町) 町民の皆様より疑惑を持たれないよう努めてまいります。

町民) 事業に反対する町民の方もいますが、賛成する町民の方もみえます。今回の第三者委員会で問題なしとの意見をもらったので、私としては早く進めていってほしいです。

町) ご意見としていただきました。